

私のイチオシ！ アクティビティ



お子様が主役のツアー

お客様の
目線や嗜好に寄り添い、
時に学習要素も入れながら
お子様を主役に体験して
いただくメニューです。

Sotoasobu

Information

伊達市弄月町249の4
☎090-3892-3695
営業時間/6:00~20:00(要望に応じます)
定休日/なし
https://sotoasobuguide.com



自然豊かな洞爺湖エリア 火山との共生も守り伝える

西胆振で自然ガイドツアーを展開する江川理恵さん。変動する大地が体感できる「洞爺湖有珠山ジオパーク」を主たるフィールドとして案内している。「洞爺湖も内浦湾（噴火湾）も普段は穏やかで、見るだけで癒やされる。この地域の良さを伝えることを通して、自分の住むまちの魅力を再発見してもらえたら」と願いを込める。

洞爺湖周辺の特色は、何とて開する江川理恵さん。変動する大地が体感できる「洞爺湖有珠山ジオパーク」を主たるフィールドとして案内している。「洞爺湖も内浦湾（噴火湾）も普段は穏やかで、見るだけで癒やされる。この地域の良さを伝えることを通して、自分の住むまちの魅力を再発見してもらえたら」と願いを込める。

西胆振 エリア ツアー ガイド UP! PICK



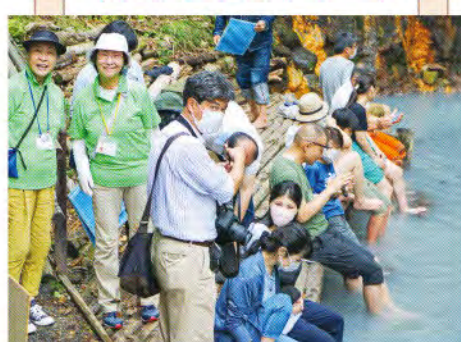
登別市

登別市観光ボランティアガイド会
会長

松本 極詩さん

1951年登別市生まれ。登別高校卒業後、北海道銀行に入行。2014年に退職。同年登別市観光ボランティアガイド会入会。趣味は温泉入浴、パークゴルフ、家庭菜園、映画鑑賞。これまで各地の温泉巡りをしたが、「やはり登別温泉が一番いい湯だなあ」と思う。

私のイチオシ！ アクティビティ



天然足湯

大湯沼から流れ出す
「大湯沼川」の天然足湯の
足を浸すと川底に溜まった
とろみのある湯の華が
巻き上がる。

登別市観光経済部観光振興グループ
登別市観光ホスピタリティ推進協議会

Information

登別市中央4の11
登別中央ショッピングセンターアーク2F
☎0143-85-2111
開庁時間/9:00~17:30
spa@city.noboribetsu.lg.jp

地域活性化を担う ボランティアガイド协会会长

もうもうと噴煙を立ち上げる「地獄谷」を間近に見下ろす展望台で、その日の法被を身にまとい、観光客に明るく声を掛けられているのが「登別市観光ボランティアガイド」のメンバー。松本極詩会長をはじめ、会員数は20人。登別市観光ホスピタリティ推進協議会が主催するガイド養成講座を受講・修了した市民がガイドとして活躍する。

そのほとんどが定年退職を迎えたお父さんや子育てを終えたお母さんたち。地獄谷、大湯沼、天然足湯などのほか、薬師如来、高浜虚子歌碑など、名所、旧跡を散策しながら登別温泉の歴史を伝えている。松本会長は「登別温泉のかけがえのない自然や景観をより広く発信することが我々の努め」とモチベーションを高めている。



伊達市

Sotoasobu(ソトアソブ)
代表

江川 理恵さん

岡山県出身。1986年に伊達市へ移住。ホテルのアクティビティ部門のスタッフやスキーインストラクターとして活動し、2018年にSotoasobu設立。洞爺湖や伊達・有珠湾周辺を巡るツアーなどブライベーツツアーを提供する。北海道アウトドア優良事業者認定(自然分野)、WAFAアドバンスレベルなど各種資格を持つ。

キーワードクイズ Keyword QUIZ

クイズに答えて温泉へ宿泊券が各地の特産品をGETしよう！
数字のついた欄にひらがなを入れてお答えください。
詳しくは12ページの応募方法をご覧ください。

Q. 登別市にある大湯沼川の「てんね5足湯」が人気。

わが町の ZERO CARBON

室蘭市は、再生可能エネルギーや水素エネルギーを活用した低炭素都市の創造を目指し、産学官民連携で取り組む「室蘭グリーンエネルギータウン構想」を策定し、燃料電池車と移動式水素ステーションの一体導入や公共施設へのエネファーム施設の整備など、脱炭素に向けた活動を展開してきた。

このほど、市所有の風力発電所で発電した電力で製造した水素を、公共施設のほか住宅や小規模店舗まで供給先を広げ、製造から利用までの供給網構築を目指す実証事業が本格始動。ほかにも、室蘭洋上風力関連事業推進協議会(MOPA)による水素・洋上風力発電の拠点形成に向けた動きなど、ゼロカーボン実現を目指す「水素社会への挑戦」が始まっている。

ON AIR



「JIMOTOプロジェクト新聞」の企画紙面を紹介
【FMびゅー／84.2MHz】放送します。



遠藤奈津美



橋本 稚葉

★3月29日(水)12:44 「らふ」
★3月30日(木)12:44 「らふ」
★3月31日(金)12:44 「らふ」

遠藤奈津美
遠藤奈津美
橋本 稚葉

★4月3日(月)12:44 「らふ」
★4月4日(火)13:30 「らふ」

遠藤奈津美
橋本 稚葉

JIMOTO新聞 2023 Spring-Summer

登別温泉を周遊する道内初の低速電動バス グリーンスローモビリティ 運行開始！

湯乃国を闊歩する赤と青

- 定員/20名
- 運行ダイヤ/平日1台運行/午後2時半～午後7時までの9便
(休日2台運行)午前9時～午後7時までの28便
※毎週火曜日は運休
- 乗車料金/1回200円、1日券500円
※支払いは現金のほか、QR決済も可

北海道を代表する観光地として、登別市は地域脱炭素の実現やSDGs(持続可能な開発目標)の達成を目指し、グリーンスローモビリティの運行を開始します。環境に配慮するとともに、観光客の移動を便利にし、温泉街の賑わいを創出することを目的としています。



人が輝き まちがときめく
ふれあい交流都市

登別市

登別市・(一社)登別国際観光コンベンション協会

http://www.noboribetsu-spa.jp